

第3号様式（第6条関係）

令和6年6月11日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）

(宛先)

戸田市長

団体名 難聴者・中途失聴者サークル ことのは
 代表者職・氏名 会長 久保 睦子
 所在地 XXXXXXXXXX

事業名	聞こえにくくても安心なまちづくり		
SDGs の 該当ゴール	「誰一人取り残さない」社会の実現 SDGs 3 すべての人に健康と福祉を SDGs 10 人や国の不平等をなくそう SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう		
確定前交付の希望	<input type="checkbox"/> 希望する		<input checked="" type="checkbox"/> 希望しない
連絡担当者	氏名	XXXXXXXXXX	
	住所	XXXXXXXXXX	
	電話	XXXXXXXXXX	
	Fax	XXXXXXXXXX	
	E-mail	XXXXXXXXXX	
ホームページ	http://todasimin.net/group_146/		
設立年月日	令和5年 5月 1日 設立		
会員数	9人		
年会費	都度会費（100円/1回）		
団体の目的	当団体は、難聴者・中途失聴者が集い、手話、口話、筆談など様々なコミュニケーション方法を用いて、仲間作りをし、地域での交流を深めていく場を目指しています。また、聞こえにくさゆえの生活上の困難を軽減するために、改善のための方策をともに考え、行動する会でありたいと考えます。 そのためには地域の方々の理解と協力が不可欠です。ことのはは当事者団体として聴覚障害者への理解や支援の方策を発信していきたいと思えます。そうすることで、誰も取り残されることなく地		

	域の中で生き生きと安心して暮らしていける社会を目指します。
主な活動実績	<p>◎令和5年度戸田市ボランティア・市民活動支援センター団体登録</p> <p>◎令和5年度戸田市共創のまちづくり補助金事業認定</p> <p>◎諸活動（令和5年度）</p> <p>《難聴者への働きかけ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月例会を年間8回実施 <ul style="list-style-type: none"> →内容は手話学習と交流・情報交換 ・難聴者交流イベント 戸田ボート観覧（参加18人） ・難聴者交流イベント クリスマス会（参加13人） <p>《一般市民に向けての働きかけ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難聴者理解のための季刊誌「ことのは通信」 <ul style="list-style-type: none"> 秋号（R5/11）・冬号（R6/1）発行 ・難聴者理解のための講演会開催（参加56人） <ul style="list-style-type: none"> 「私が聞こえなくなってから」河合優子氏
これまでの補助金等の援助状況	<p>令和5年度 戸田市共創のまちづくり補助金 （スタートアップ運営補助）で5万円交付を受ける 期間 令和5年6月22日～令和6年2月29日</p>
団体PRなど	<p>ことのはは戸田市初の難聴者・中途失聴者サークルです。</p> <p>「同じ障害を持つ仲間と交流したい」</p> <p>「聞こえに関する情報を知りたい」</p> <p>「講習会で習った手話の勉強を続けたい」</p> <p>と考える仲間たちが集まって令和4年の8月にこの会が立ち上がりました。</p> <p>聴覚障害者、特に難聴者は、聞こえの程度も、障害を抱えるようになった時期も千差万別です。また、普段補助的に用いるコミュニケーション手段も手話であったり、口話であったり、様々です。それゆえに団体としてまとまりにくいと言われてきました。</p> <p>そのように言われながらも、発足して今年で3年目を迎えようとしています。</p> <p>昨年度は戸田市の共創のまちづくり補助金事業として認可され、月例会の実施はもちろん、戸田市民向け難聴講演会や、サークル季刊誌の公共施設への配架などを通じて難聴者理解や潜在的な難聴者への呼びかけに努めてきました。</p> <p>そうした活動を通して、少しずつではありますが戸田市内での認知度もあがってきたと感じています。</p> <p>今年度も初心を忘れずに、当事者団体として活動を続けていきたいと思っております。</p>

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性・課題

SDG s の該当ゴール：

「誰一人取り残さない」社会の実現

聴覚に障害があっても安心して暮らせるまちづくりを目指していく。

SDG s 3 すべての人に健康と福祉を

SDG s 10 人や国の不平等をなくそう

SDG s 17 パートナースhipで目標を達成しよう

《事業の課題》

- ① 難聴者、中途失聴者は、音声によるスムーズなコミュニケーションが難しくなることで、学校や職場などで情報から取り残されてしまうことが多々あります。
- ② 高齢者においては、コミュニケーションがうまくいかず孤立化することで、認知症のリスクが高まります。
- ③ 若年層においても、聞こえにくいことで心の健康を損ね、家にひきこもってしまったり、社会とのつながりを断ってしまうこともあります。

《事業の必要性》

誰もが健康で幸せな生活を送りたいと思っています。効果的な難聴の治療法が見つかっていない現在、私たちにできることは、聞こえにくくても自分の人生をあきらめず、自分たちにできるコミュニケーションの方策を探り続けることです。そのためには、次の3つのことが不可欠です。

- ① 聞こえにくいことでの困難や苦悩を共感してくれる仲間の存在
- ② 聞き取りにくさを補足するコミュニケーションの方法と聞こえに関する情報
- ③ 難聴者の聞き取りにくさを理解し、支援してくれる地域の人々の協力

《事業の目的》

ことのはは聴覚障害の当事者団体として、

- ① 戸田市内の聴覚に困難を抱える方や、潜在的な難聴者に対して必要な情報を提供していきます。また、同じ障害をもつ仲間がいて、共感したり、相談したりする場があることを知ってもらえるよう働きかけます。
- ② 地域の人々に聴覚障害者の特性を理解してもらい、必要な支援や協力をお願いしていきます。
- ③ 配慮を必要とする聴覚障害者も、他の場面では別の困難を抱える人を理解・支援できます。障害や性別、人種、国籍などに関わらず、誰もが支え、支えられる関係である社会を目指していきます。

上記①～③の活動を通して、情報格差による不利益や不平等をなくし、「すべての人に健康と福祉を」「人や国の不平等をなくそう」というゴールに向け、地域の方々とともに「パートナーシップで目標を達成」していきたいと思ひます。

2 事業の具体的内容

《難聴者向けの事業》

I 補聴器専門家による補聴器説明会

補聴器は難聴者にとって、聴力をあげるための有効な手段です。適切に調整された補聴器を使用することで聞こえは改善されます。ですが、健聴のころの聞こえ方と同じというわけにはいきませんし、専門家による調整も必要です。これから補聴器の装用を検討する人、また、現在装用中だが、不具合を感じている人などを対象に補聴器の正しい知識を伝えることが大切だと考えます。また、戸田市では今年度から手帳保持のいかにかわらず、65歳以上の高齢者を対象として、補聴器購入に際して補助金が出ることになりました。そうした情報も含めて情報発信する場としたいです。

時期) 7月

会場) 上戸田地域交流センター

講師) 認定補聴器専門店 蕨ボイス補聴器センター
認定補聴器技能士 6-1530 坪田 修氏

対象) 聞き取りに困難を感じる当事者、家族 定員20人程度

内容) 補聴器の基本説明会及び相談会

情報保障) 要約筆記・手話通訳

周知方法) 戸田市SNS、TOMATOホームページ
補聴器説明会のチラシを市内公共施設に配架

《一般市民向けの事業》

II 難聴者理解のための講演会

聴覚障害者は、学校や職場、家庭などのあらゆる場面で聞こえにくさが問題になり、対人関係のトラブルや困難に直面します。それゆえ聴覚障害はコミュニケーション障害だと言われることもあります。コミュニケーションは双方向のやり取りなので、どちらか一方の努力でなく、お互いに理解する努力が必要です。多くの人に聴覚障害の特性について理解してもらい、わたしたちがどんな支援や配慮を必要としているのか知ってもらうことが円滑なコミュニケーションの第一歩となってきます。

聞こえに困難のある人も、そうでない人も、誰もが安心して暮らせるまちに近づけるよう当事者団体として発信していきたいと思っています。

時期) 11月ごろ

会場) 上戸田地域交流センター

講師) 候補者2名

① 元ろう学校教員で手話通訳士 橋本 一郎氏

② 難聴で弁護士 久保 陽菜氏

上記2名の方が不可能な場合は、東京都中途失聴・難聴者協会の

	理事の方に打診予定。
対象)	誰でも 定員 50名程度
内容)	① 聴覚障害者にとって手話の必要性とその普及 ② 難聴者への理解・コミュニケーション方法の啓発
情報保障)	要約筆記・手話通訳
周知方法)	戸田市SNS、TOMATOホームページ 補聴器説明会のチラシを市内公共施設に配架

3 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
6月	補聴器専門家に説明会依頼・会場確保 補聴器説明会→SNS及びチラシによる周知と申し込み
7月	補聴器説明会 実施
8月	講演会講師依頼・会場確保
10月	講演会→SNS及びチラシによる周知と申し込み
11月	講演会 実施
12月	アンケート集計・事業報告まとめ

4 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

<ul style="list-style-type: none"> ・補聴器説明会で、参加者15名以上。 ・補聴器説明会事後のアンケートで、満足度70%以上。 ・講演会で、参加者40名以上。 ・講演会事後アンケートで、満足度70%以上。 ・2つの事業をとおしてことのは月例会の見学者が平均1名～2名、年間の会員増加率20%。
--

《収支予算書》

【収入】

科目	予算額	内訳
補助金・当補助金	50,000	
助成金 其他		
自己資金	1,230	
会費		
利用者負担金		
協賛金・寄附		
その他		
合計	51,230	

【支出】

	科目	予算額	内訳
補助 対象 経費	謝礼金	30,000	Ⅱ 講演会での講師謝礼金 30,000 (交通費込み)
	交通費	3,000	Ⅰ 補聴器説明会での講師交通費、Ⅱの講演 会でのボランティア交通費 1,000×2人
	印刷製本費	2,060	チラシ印刷代 Ⅰ ¥440 Ⅱ ¥1,320 ポスター印刷代 Ⅱ ¥300
	使用料	12,270	会場費 Ⅰ ¥3,110 Ⅱ ¥7,160 プロジェクター等借代 Ⅰ ¥500 Ⅱ ¥1,500
	食糧費	2,500	講師、ボランティア用
	消耗品費	1,400	要約筆記用ロール
	小計	51,230	内訳 補助金申請額：50,000 自主財源：1,230
補助 対象 外 経費			
	小計		
	合計		